

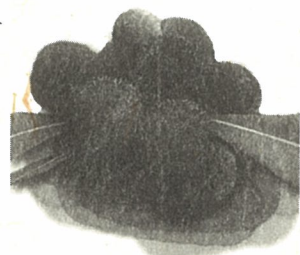


季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〜第一〇八号〜

芒種 ぼうしゅ

六月六日



エコ参宮その4 神話ゆかりの木

先日、伊勢路栽苑が主催するエコ参宮に参加したときのこと。神話に登場する木を教えてもらいました。

ひとつは、オガタマの木。神社の神域でよく見かけますが、サカキと同様に神前にお供えされます。モクレン科には珍しい常緑樹で、神さまをおがみ(拝み)たま(霊)から転化した名前といわれています。

「十月には赤い実が鈴なりになりますが、天岩戸開きの際には天鈿女命あめのうすずめのみことはこの木を持って踊ったのですな」と案内役の岡與一先生はおっしゃいます。天岩戸開きの神話では、天照大神が隠れてしまった岩戸の前で、天鈿女命は一心不乱に踊る場面が知られています。その時、手にしていたのがこのオガタマの木と伝わるのです。私たちが見た頃は白い花が咲いていましたが、神話に登場する木が今の世にも現存し、生長していることがうれしく思いました。

もうひとつは、ヤマモモの木です。

「江戸時代に中国から水密すいみつ(モモ)が入ってきましたので、それまでは単にモモと呼ばれていたのですが、区別してヤマモモと言われるようになったのですな」。岡先生の言葉に驚きました。神話では、伊弉諾尊いざなののみことが黄泉の国へ妻の伊弉冉尊いざなみののみことに会いに行ったものの、黄泉醜女しじめに追われ、窮地に陥って投げつけたのがモモです。「中国の思想では、モモは家の鬼門を外敵から守るといふ考えがありましたな」。ヤマモモはバラ科で、モモとは種類が違いますが、神話のモモはひよっとすると水密ではなく、ヤマモモだったのかもしれませんが。どちらなのか、悩ましいところですよ。

今度のエコ参宮は、六月一八日(土)の午前九時から、内宮前の猿田彦神社から古市街道を散策します(申し込みはおかげ横丁の伊勢路栽苑まで)。

文 千種清美

